

第4次長岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

令和2年度実績について

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、本市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減等を目的に策定している。（平成31年3月に第4次計画を策定）

1 市の事務事業からの温室効果ガス排出状況

- 令和2年度に市の事務事業から排出された温室効果ガスは70,921 t-CO₂で、基準年度（平成29年度）比で11.2%の削減となり、本計画（第4次）の削減目標（基準年度比-3.5%）を上回った。

- 令和2年度実績値及び基準年度等との比較（二酸化炭素換算）

単位：t-CO₂

年度	H29年度 (基準年度)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標 (R4年度)
排出量	79,826	76,594	68,986	70,921	-	77,032
基準年度比	-	-4.0%	-13.6%	-11.2%	-	-3.5%

- 温室効果ガス削減状況の概要

令和2年度は、一般市民が利用する施設においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う施設の休館や利用者の減少により、主に「電気使用量」が減少した。

全体として、温室効果ガス排出量が削減している一方で、分散勤務により執務室における「電気使用量」が増加している施設や冬季の暖房使用に伴う「都市ガス」などの燃料使用量が増加した施設がみられた。

- 今後の取組

温室効果ガス排出量は、社会情勢や気象条件等により増減があるものの更なる削減に向け、市が率先した取組を行う。

○冷暖房の適正運用

冷暖房の適正運用（冷房時“室温”28℃、暖房時“室温”19℃が目安）を徹底し、都市ガス等の使用量を削減

○継続した省エネ行動の推進

クールビズやウォームビズ、節電、ノー残業デーの徹底等による省エネ行動の推進

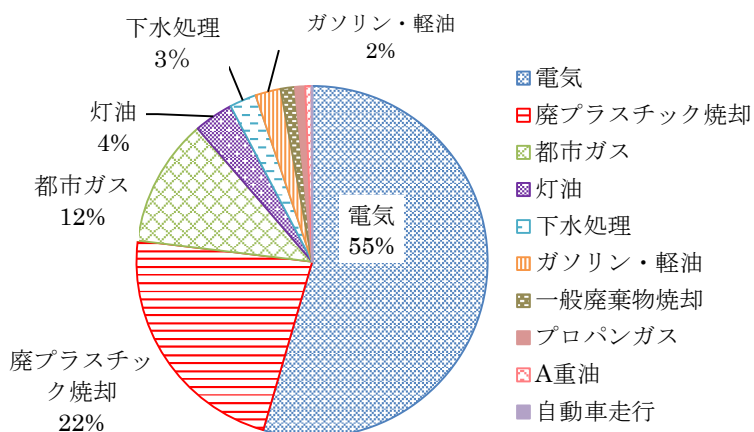
○プラスチックごみ※の削減

- ・プラスチックごみの分別の徹底と排出抑制
- ・マイバッグ等の活用により、レジ袋はもとより、ストロー、フォーク等の不必要な使い捨てプラスチック製品の使用を自粛

※プラスチックごみの焼却に伴う温室効果ガス排出量は市の事務事業全体の22%

2 排出源別の温室効果ガス排出状況

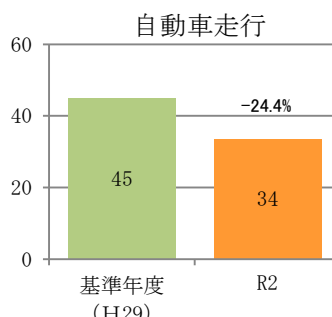
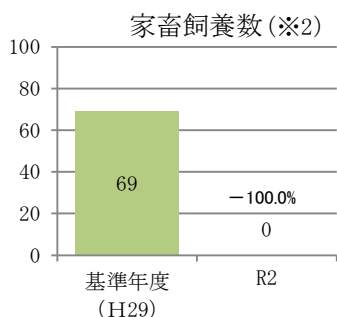
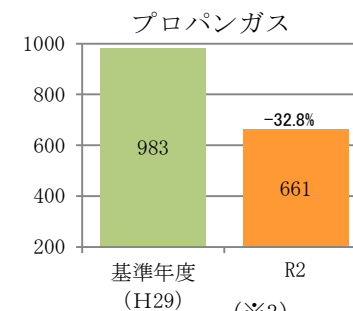
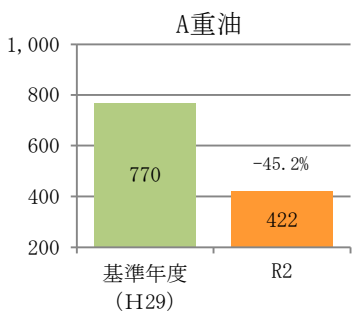
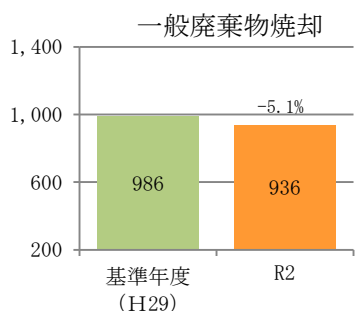
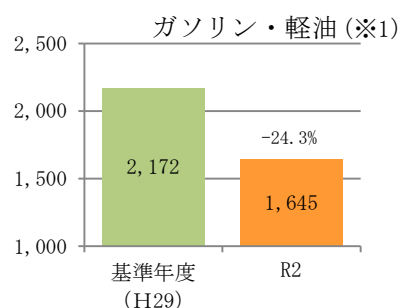
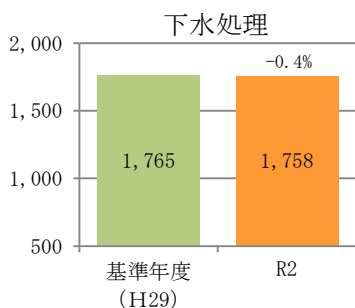
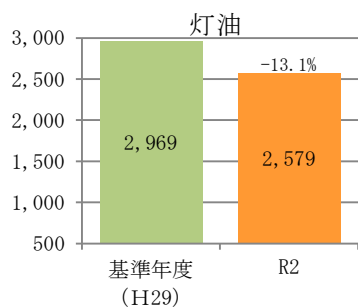
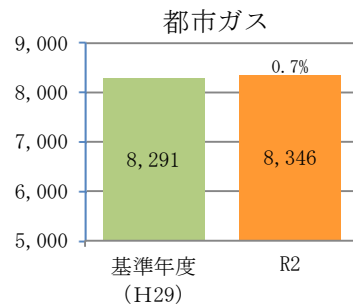
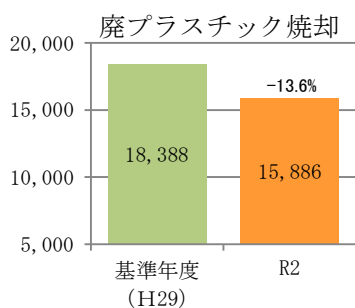
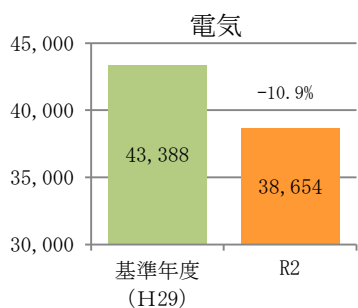
■ 排出源別の温室効果ガス排出量割合



・主に新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う施設の休館や利用者の減少により、電気使用量を始めとして全体を通じて温室効果ガス排出量が削減した。

・一方で冬季の暖房使用の増加に伴い、都市ガス使用に伴う温室効果ガス排出量は増加となった。

■ 排出源ごとの温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



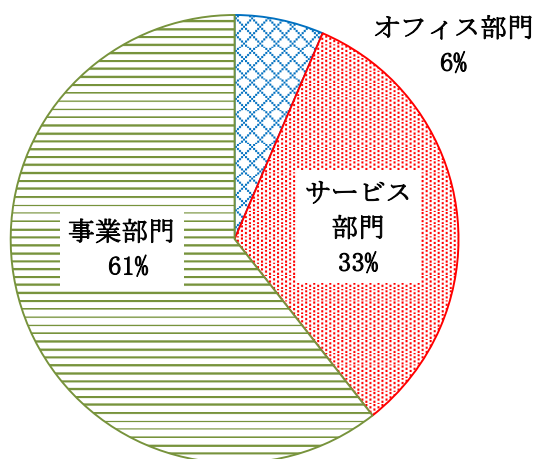
※1 燃料の使用に伴う温室効果ガス排出量

※2 平成 30 年度末 市営牧場廃止

※3 自動車の走行に伴う温室効果ガス排出量

3 部門別温室効果ガス排出状況

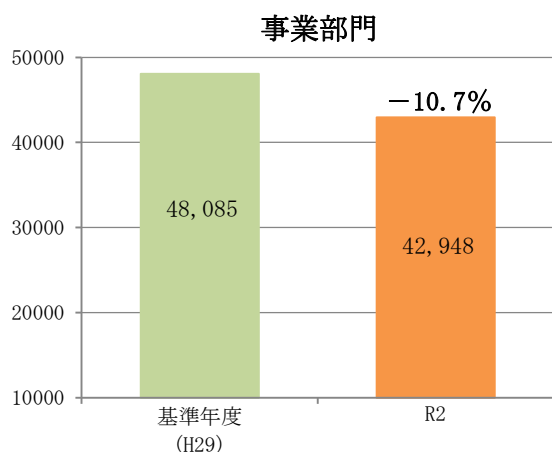
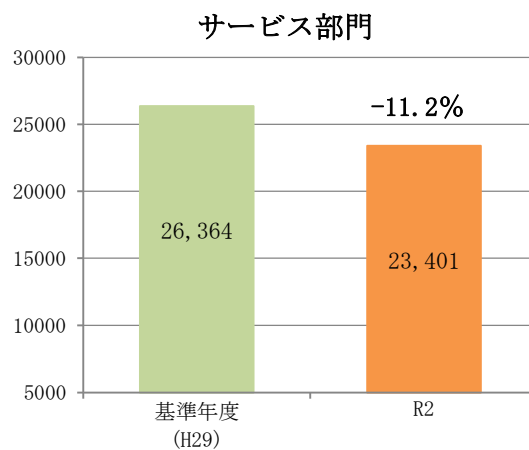
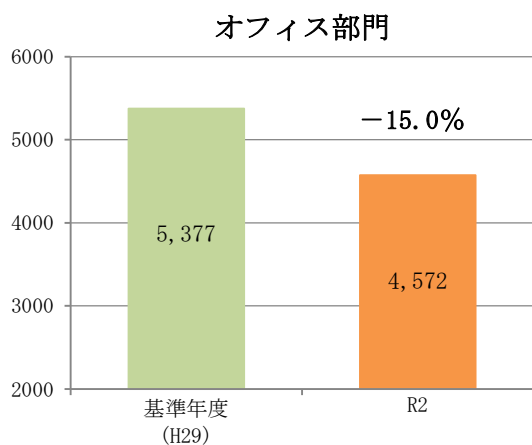
■部門別の温室効果ガス排出量割合



・すべての部門において基準年度より排出量が削減された。
 ・サービス部門においては、特に電気使用量が大幅に削減されており、理由としては、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う施設の休館や利用者の削減が挙げられる。

オフィス部門：主に事務を行う施設
 サービス部門：主に市民が利用する施設
 事業部門：ごみ処理や上下水道などの現業を行う施設

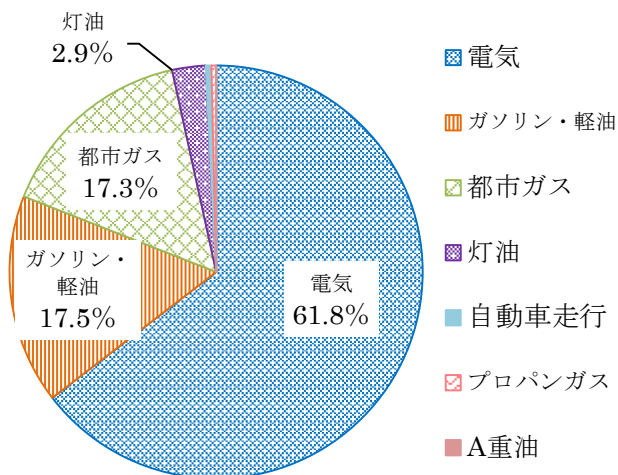
■部門ごとの温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(1) オフィス部門

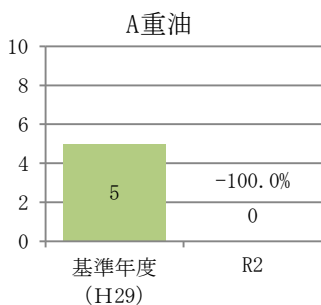
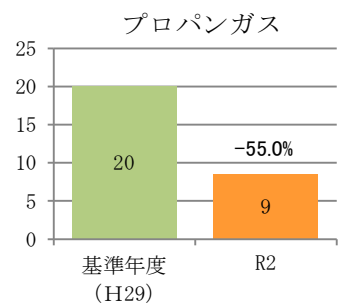
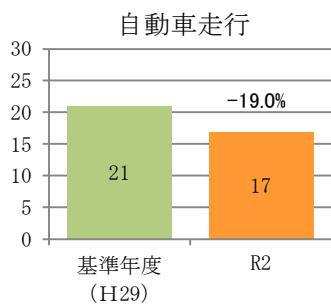
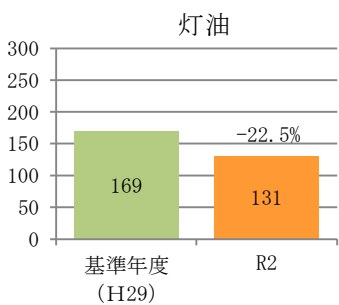
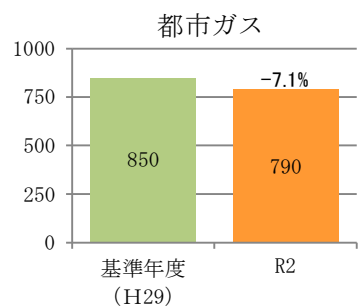
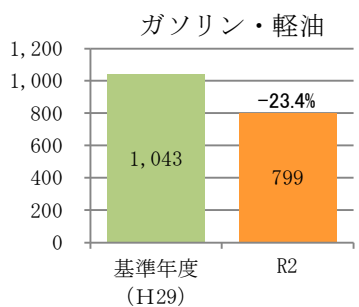
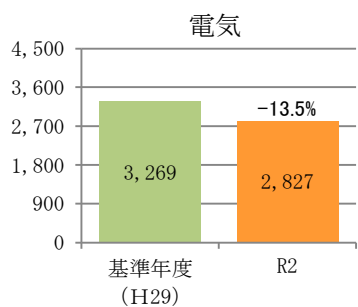
対象施設：本庁舎、さいわいプラザ、大手通庁舎、市民センター庁舎、各支所、水道局舎、消防庁舎ほか

■ オフィス部門の排出量分布



- ・ オフィス部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で 805 t-CO₂ 削減された。
- ・ すべての項目において、基準年度より排出量が削減した。
- ・ 削減量としては、電気が最も多い。(基準年度比で 442t-CO₂ 削減)

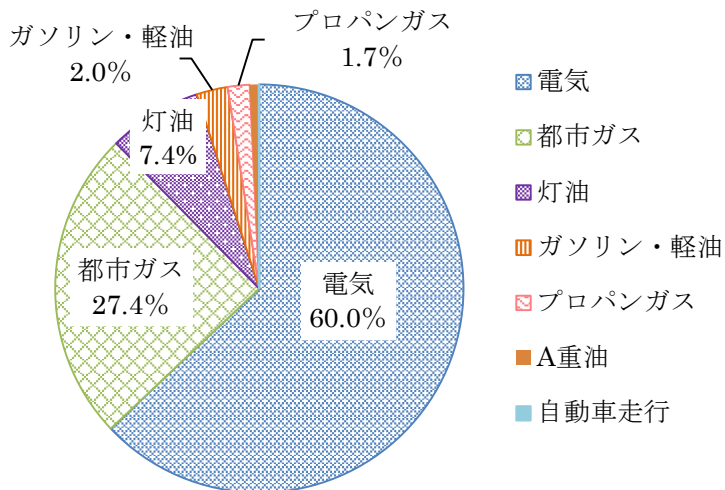
■ 排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(2) サービス部門

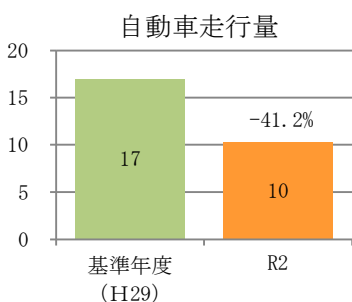
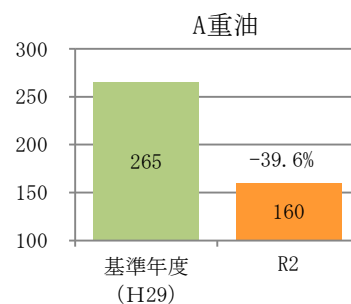
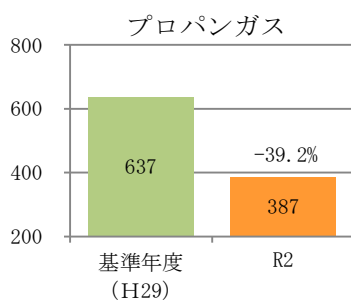
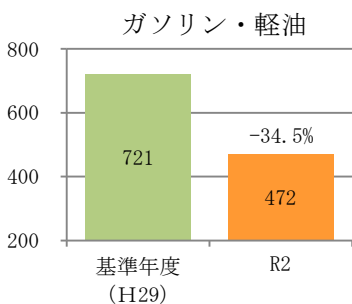
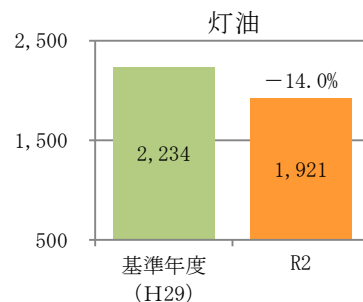
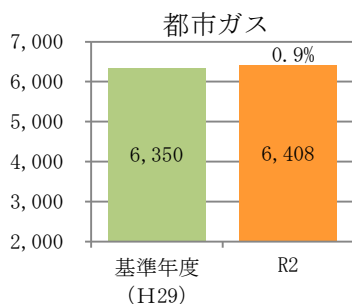
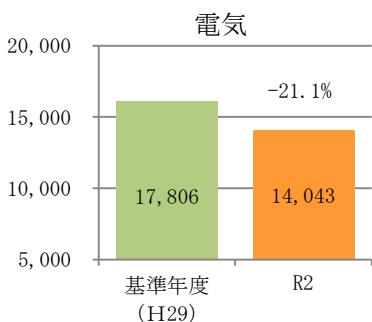
対象施設：市民センター、学校、保育園、コミュニティセンター、体育施設、福祉施設、図書館ほか

■ サービス部門の排出量分布



- ・ サービス部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で 2,963t-CO₂ 削減された。
- ・ 都市ガスのみ基準年度比で温室効果ガス排出量が増加した。
これは、主に冬季の暖房使用の増加やコロナ禍における感染対策のため（福祉施設における入浴可能時間の延長等）
- ・ 削減量としては、電気が最も多い（基準年度比 3,763 t-CO₂ 削減）

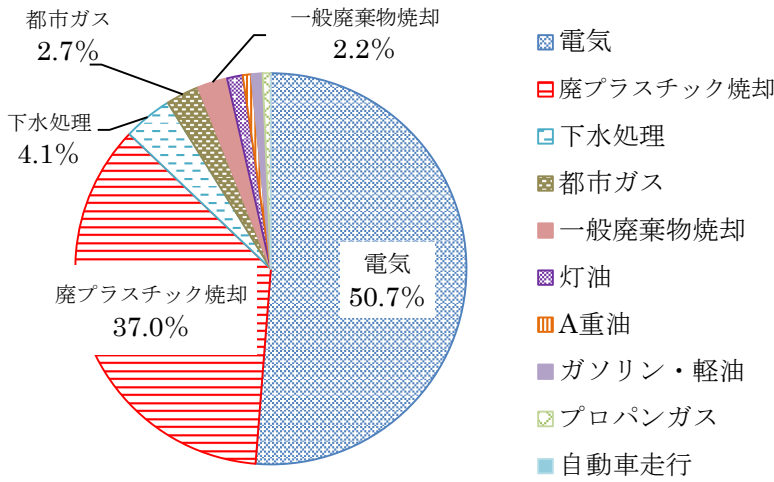
■ 排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(3) 事業部門

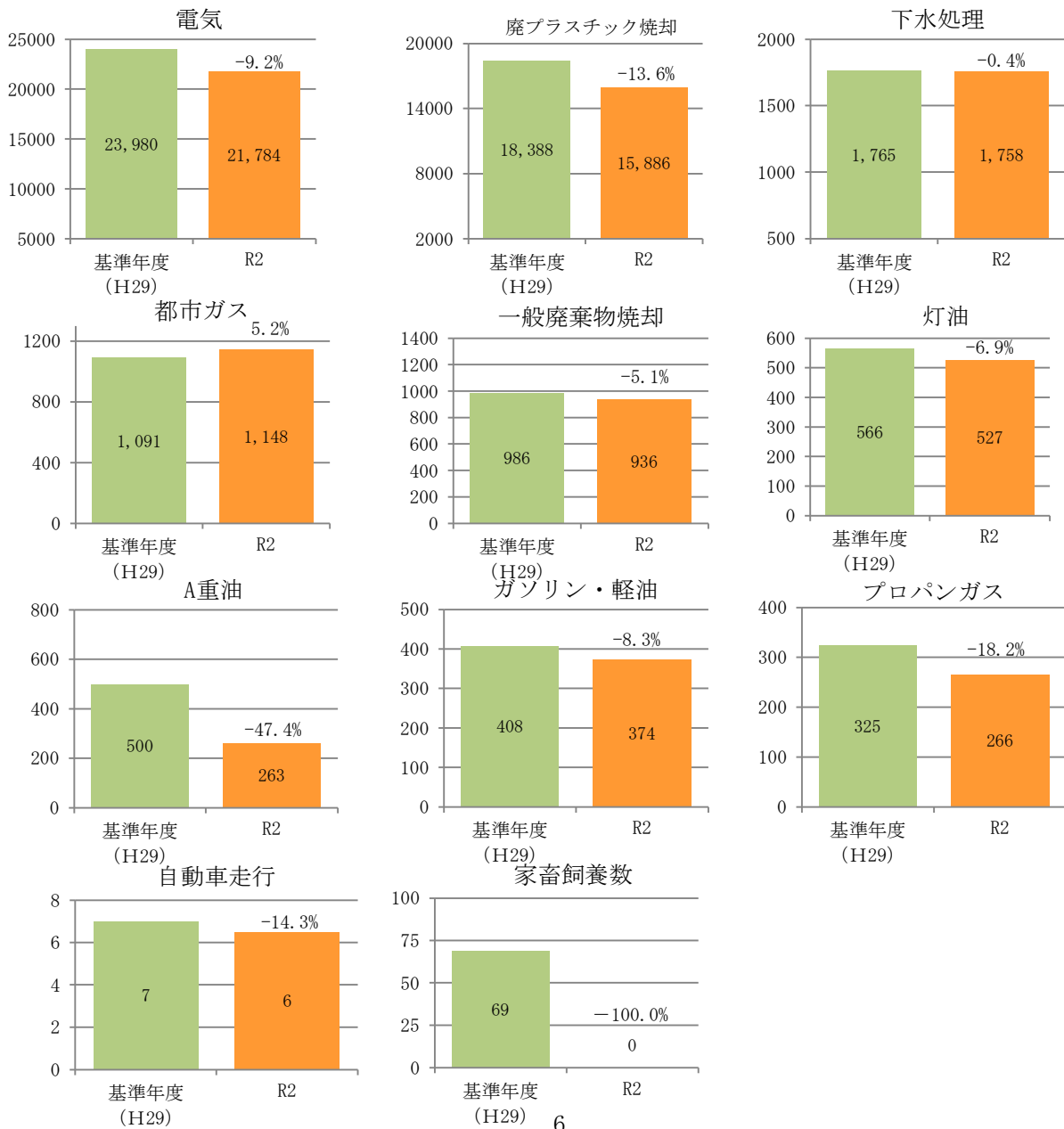
対象施設：ごみ処理施設、浄水施設、下水処理施設、消防署、斎場、学校給食、調理施設ほか

■事業部門の排出量分布



・事業部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で5,137 t-CO₂削減された。
 ・都市ガスのみ基準年度比で温室効果ガス排出量が増加した。
 これは、主に冬季の暖房使用の増加によるもの

■排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



4 各職場での地球温暖化防止の取り組み

第4次長岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、各職場で独自の地球温暖化防止の取り組みを下記のとおり行った。

■令和2年度の主な取り組み内容

上半期

内容	件数
ノーマイカーデー	94
グリーンカーテン	57
節電（照明間引き、消灯、OA 機器等の節電等）	86
マイボトル持参	50
空調適温設定	91
特別ノー残業デー、退勤時間の設定 等	25
電気ポット不使用	9
紙の減量	16
すだれ、遮光カーテン、網戸設置 等	9
クールビズ	2
その他	14

下半期

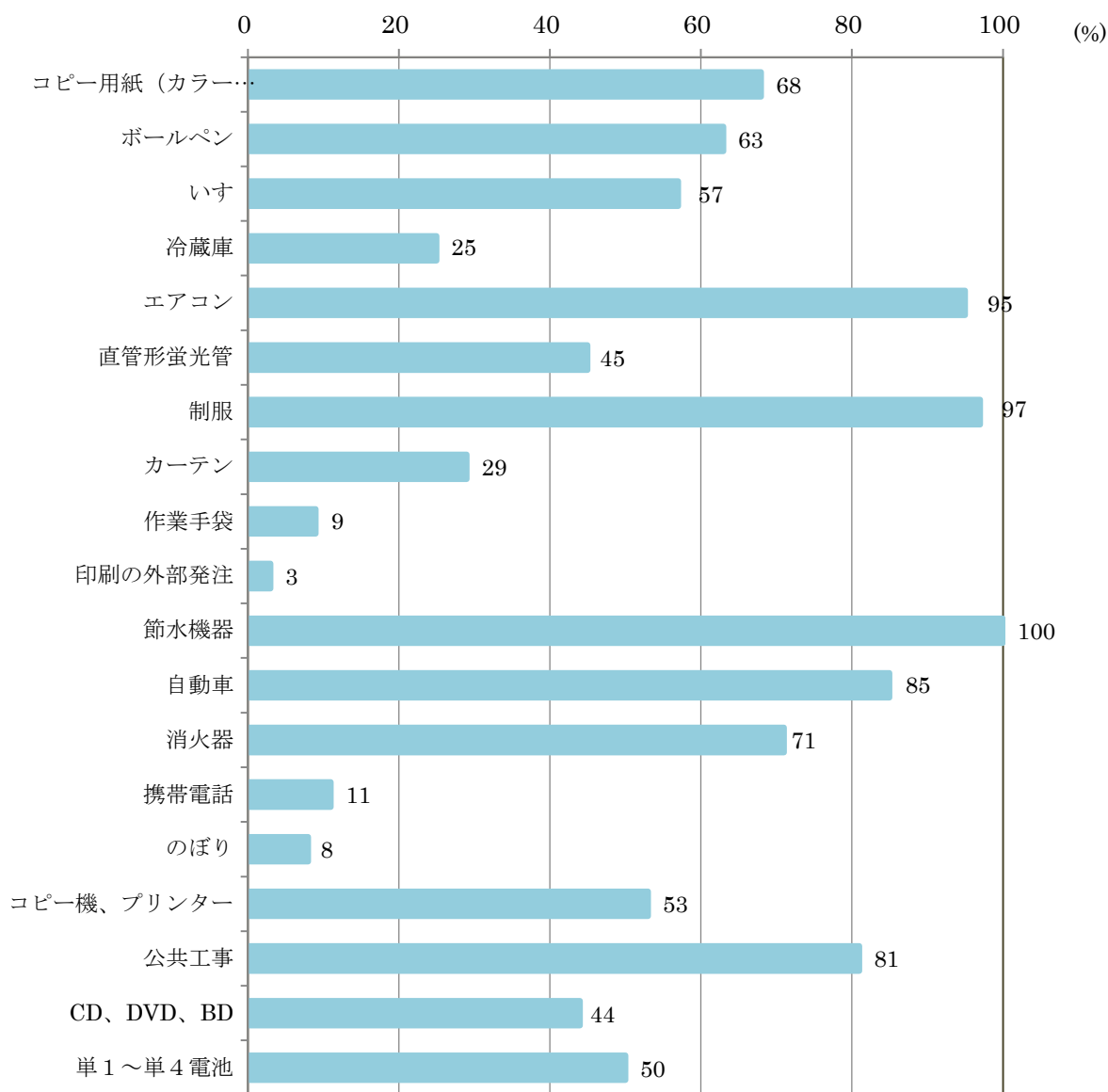
内容	件数
ノーマイカーデー	99
節電（照明間引き、消灯、OA 機器の節電等）	102
空調適温設定	95
特別ノー残業デー、退勤時間の設定 等	34
ウォームアップ体操	10
紙の減量	20
マイボトル持参	21
ウォームビズ	2
電気ポット不使用	8
カーテン、仕切り、シートによる断熱	2
その他	33

5 グリーン購入法に基づく物品等の調達状況

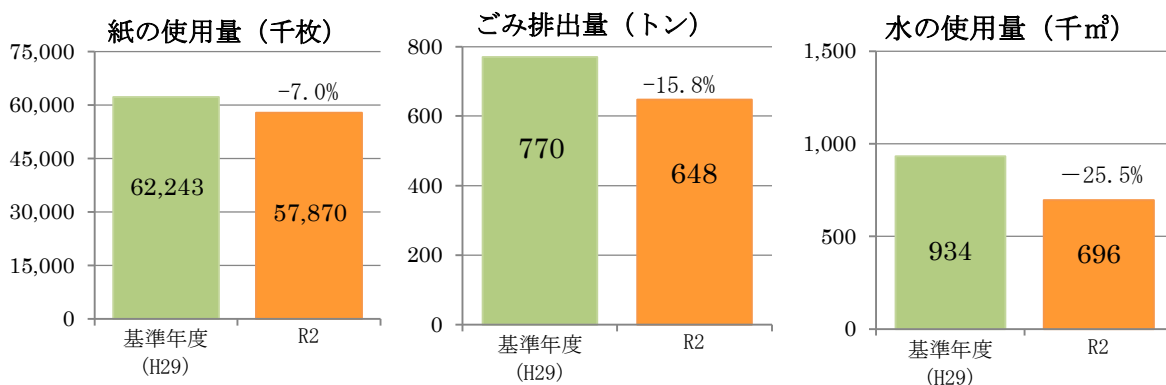
第4次長岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市の事務事業において物品等の調達が必要な際には、グリーン購入法適応のものを優先的に調達するよう努めた。

令和2年度 グリーン購入率（全体） 68%

■購入品目別グリーン購入率



6 紙・水の使用状況及びごみの排出状況



資料

1. 排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

項目	基準年度	R2 年度	R2 年度 基準年度比
電気	43,388	38,654	-10.9%
都市ガス	8,291	8,346	0.7%
灯油	2,969	2,579	-13.1%
A重油	770	422	-45.2%
ガソリン・軽油	2,172	1,645	-24.3%
プロパンガス	983	661	-32.8%
自動車走行	45	34	-24.4%
一般廃棄物焼却	986	936	-5.1%
廃プラスチック焼却	18,388	15,886	-13.6%
下水処理	1,765	1,758	-0.4%
家畜飼養	69	0	-100.0%
合計	79,852	70,921	-11.2%

2. 部門別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

部門	基準年度	R2 年度	R2 年度 基準年度比
オフィス部門	5,377	4,573	-15.0%
サービス部門	26,364	23,401	-11.2%
事業部門	48,085	42,948	-10.7%

3. オフィス部門の項目ごとの排出量 (t-CO₂)

項目	基準年度	R2 年度	R2 年度 基準年度比
電気	3,269	2,827	-13.5%
都市ガス	850	790	-7.1%
灯油	169	131	-22.5%
A重油	5	0	-100.0%
ガソリン・軽油	1,043	799	-23.4%
プロパンガス	20	9	-55%
自動車走行	21	17	-19.0%
合計	5,377	4,573	-15.0%

4. サービス部門の項目ごとの排出量 (t-CO₂)

項目	基準年度	R2 年度	R2 年度 基準年度比
電気	16,140	14,043	-21.1%
都市ガス	6,350	6,408	0.9%
灯油	2,234	1,921	-14.0%
A重油	265	160	-39.6%
ガソリン・軽油	721	472	-34.5%
プロパンガス	637	387	-39.2%
自動車走行	17	10	-41.2%
合計	26,364	23,401	-11.2%

5. 事業部門の項目ごとの排出量 (t-CO₂)

項目	基準年度	R2 年度	R2 年度 基準年度比
電気	23,980	21,784	-9.2%
都市ガス	1,091	1,148	5.2%
灯油	566	527	-6.9%
A重油	500	263	-47.4%
ガソリン・軽油	408	374	-8.3%
プロパンガス	325	266	-18.2%
自動車走行	7	6	-14.3%
一般廃棄物焼却	986	936	-5.1%
廃プラスチック焼却	18,388	15,886	-13.6%
下水処理	1,765	1,758	-0.4%
家畜飼養	69	0	-100.0%
合計	48,085	42,948	-10.7%

6. 配水量について

項目	基準年度	R2 年度	R2 年度 基準年度比
配水量 (千 m^3)	34,852	33,165	-4.8%
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) ※1	6,287	5,290	-15.9%

※1 浄水及び配水作業、その他浄水場において発生する温室効果ガス

7 焼却量について

項目	基準年度	R2 年度	R2 年度 基準年度比
一般廃棄物焼却量 (t)	58,273	55,313	-5.1%
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) ※2	986	936	-5.1%
廃プラスチック焼却量 (t)	6,651	5,746	-13.6%
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) ※2	18,388	15,886	-13.6%

※2 焼却に伴い排出される温室効果ガス

8 下水処理量について

項目	基準年度	R2 年度	R2 年度 基準年度比
下水処理量 (千 m^3)	25,328	25,235	-0.4%
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) ※3	1,765	1,758	-0.4%

※3 下水の処理に伴い排出される温室効果ガス